

OASIS の風

-hear your heart-

ナースিংホーム OASIS 志賀公園

R5年



入居者様の声

K・M 様 : 70 代男性 : ALS : ナースিংホーム OASIS 志賀公園入居中 コミュニケーション支援機器の利用なし

学生の頃はギター、20代では車いじりが趣味でしたが、徐々に身体の動きにくさを自覚し、**55歳でALSと診断されたK様。**

3ヶ月入院後、ご自宅に戻りましたが何度も病院と自宅を行き来する生活を送られました。自宅では自走式の手椅子使用し、トイレや食事などの生活動作行い、それ以外ではベッド上でほとんどを過ごされていました。

志賀公園に施設に入居されてからも自走式手椅子使用されていましたが、病気の進行によるものが徐々に漕ぐ力がなくなってしまったため、電動車椅子導入となりました。導入後はK様も「軽々と動いて良い」と喜ばれていました。

また、**現在ゆっくりではありますが発語にてコミュニケーションを取ることができています。**

そんなK様に今後のことについてインタビューすると、「先のことは考えられない」「毎日毎日を生きるだけ」と仰られました。

ご本人の状態に合わせた支援が行える様に、タイミングを図りながら介入させていただきたいと思います。



スタッフの声

K様の支援について

Iさん : 訪問看護師 ナース志賀 : 4年4カ月
コミュニケーションについて現時点では聞き取りもでき、支援機器の使用はありません。しかし、徐々にコミュニケーションが障害されることが予測されます。次のコミュニケーション手段を早期に検討する事はもちろん、少しでも現在の機能を維持できるよう、可能な限り積極的に会話を図り、また以前と異なる症状に早い段階で気づき、早めの対策が可能となるよう関わっていただけたいと思います。

トピックス

ALS協会でもオンライン患者会を

ALS協会愛知県支部では年4回、患者家族(遺族)交流会を実施していましたが、2020年新型コロナウイルスの日本上陸後は開催できておりませんでした。

この度、オンラインを利用してではありませんが、約2年ぶりに患者会を実施されました。

弊社でも過去5回オンライン交流会を開催しましたが、感染に配慮しつつ交流する機会は改めて大変貴重であると考えます。

